



ごとう ゆういち
後藤 雄一 議員

自民党・公明党・女性の会
熱海梁山泊

◆ 所属委員会 ◆
観光建設公営企業委員会
公共施設整備等特別委員会

その他の質問項目
■救急搬送時二次感染防止の
対策■避難所の新型コロナウイルス感
染症の対策■学校給食の無償
化取組について

生活困窮者対策の取組と高齢者雇用について
障がい者への特別定額給付金の手続等について

質問 年金と就労収入で生活していた高齢者の方がコロナ禍で、失業により生活困窮しているケースがあるが、そのような高齢者の方への支援策及び相談窓口について伺う。

答弁 高齢者の方への支援の一つにシルバー人材センターへの登録があるが、コロナ禍による観光施設の休館や保養所利用の減少等で、当該センターへの仕事の依頼も減少しており、十分な仕事を得ることができないのが

現状。その他の支援策として生活困窮者自立支援事業や、新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少し、離職等と同じ程度の状況になり、住居を失う恐れが生じている世帯には、家賃に対して一定期間の家賃相当額を支給する住居確保給付金がある。熱海市社会福祉協議会が窓口の対応を行う。

質問 障がい者の方が、ご自身で障がい者施設や福祉事務所等に訪問できなく、特別定額給付金制度の内容や申請手続等が分からない場合の対応について、どう支援していくのか伺う。

答弁 一定の期間を過ぎても未申請の障がい者への対応については、未申請者リストを作成し、社会福祉課職員が未申請者の申請意思を確認させていただいた上で、申請行為支援をしていきたいと考えている。

コロナ禍における観光業への影響について



こしむら おさむ
越村 修 議員

熱海成風会

◆ 所属委員会 ◆
総務福祉教育委員会
広域行政推進特別委員会
(委員長)

その他の質問項目
■緊急事態宣言等にとまなう
生活保護受給状況について

質問 旅行に行こうというマインドが回復していないし、これからハイシーズンを迎えるにも関わらず、予約状況は低調で商売が維持できなくなる。どのように捉えているのか。

答弁 今後、一日当たりの稼働率は下がっても、平日と休日の差、季節の差を平準化し稼働率の維持を支援することが必要。

質問 現在、支援策として持続化給付金や雇用調整助成金の特例措置、税金や料金の徴収猶予などがあるが、経済を回復させるためには支援が不足していないか。

答弁 今後は、旅行に行こうというマインドを高め、実際に人が動く施策が求められる。他の観光地との差別化を図れるような誘客キャンペーンを実施したい。

質問 現在、市民向け宿泊クーポン事業を進めているが、昨年度の6月から8月までの宿泊実績は約85万人。対してクーポンはわずか千人分と少なく、これではカンフル剤にもならないが、利用希望はどの程度か。

答弁 希望されたクーポン数は3,812人泊分で、抽選の結果268人にクーポンを配布した。

要望 多くの市民の方々に、希望があるならば自粛が続いた市民に対する慰労の意味や宿泊事業者への支援として増額し、希望する皆様の手に渡るようできないか要望する。

※ _____ で表記されている言葉については、P8の解説を御参照ください。